

## 地域ヘルスプロモーション病院としての 病院祭の開催「台東病院・老健千束祭」

地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター 嶋田雅子 川畑輝子 村中峯子 中村正和  
台東区立台東病院・老人保健施設千束 楠本直紀 添田文子 高橋麻衣子  
廣田謙一 中野博美 山田隆司

### はじめに

台東区立台東病院・老人保健施設千束(以下、台東病院)は、地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターと協働して、2017年度から、病院から地域にむけてヘルスプロモーション活動を展開するHPH(Health Promoting Hospitals and Health services)<sup>1)</sup>の活動を開始した<sup>2)~4)</sup>。HPHの考え方を職員全員と共有して組織的な取り組みに発展させるため、2018年度からHPHワークショップを開催した。その結果、「在宅ケア」「認知症ケア」「フレイル予防」「禁煙推進」「食生活支援」の5つのテーマについて多職種が連携した活動を開始することとなった<sup>5),6)</sup>。これらの活動の結果、2019年度には台東区から今後10年間の指定管理の受託において、3つの運営方針の1つに「地域のヘルスプロモーション病院としての役割」が位置づけられた。

2018年9月に開催されたHPHワークショップにおいて、地域のヘルスプロモーション病院の活動の一環として、台東病院・老健千束祭(以下、病院祭)の提案がなされた。その後、職員が主体となって企画が進められ、2019年9月8日に実施された。本稿ではその病院祭の概要を報告する。

### 病院祭の目的と開催方法

#### 1. 目的

病院祭の目的は、地域住民との交流を通じて、台東病院が「地域ヘルスプロモーション病院」として、患者・利用者の治療や療養支援だけでなく、患者や地域住民の健康づくり(予防)にも取り組むことを周知することにある。参加者に対しては、専門職から健康づくりに役立つ正しい知識や方法を学ぶ機会になること、職員に対しては、ヘルスプロモーションの理解や活動意欲の向上、職種間のコミュニケーションの強化が図られることもねらいとした。

#### 2. 開催方法

院内に設置した健康推進委員会を中心に病院祭の方針や実施体制を検討し、2019年6月に病院祭実行委員会を立ち上げて定期的に会議を重ねながら企画を詰めた。具体的には、これまで健康推進委員会で取り組んできた「在宅ケア」「認知症ケア」「フレイル予防」「禁煙推進」「食生活支援」を含む9つのテーマを設定し、多職種混在のチームを結成して各チームが企画から実施までを担当した。各チームには看護介護部、医療技術部、事務部から多様な専門職が4~5名参加した。また、就業3年目職員は研修の一環として、実行委員や各チームのサブリーダーの役割を担い、人材育成の場として活用した。

病院祭の広報は、ポスターやちらしを作成して

院内に掲示するほか、病院のFacebookで情報を配信した。また、近隣の町会や台東区役所健康部、台東区保健所、地域包括支援センターに周知の協力を依頼し、区の広報誌掲載や窓口でのちらし配布、町会の回覧や口コミで広報した(図1)。

## プログラムの概要

病院祭は2019年9月8日(日)11:00~16:00で実施した。会場は1階のロビーと外来待合室、2階の会議室や通所リハビリテーションの空きスペースを活用した。

当日は大型の台風が接近しており悪天候が心配されたが、一般来場者約200名に加えて、地域のボランティアの方や台東区の関係者、療養病棟等の入院患者や老人保健施設の入所者など、総勢300名近い人が参加した。

各チームの催しについて主な内容を表1に示す。測定や試食、クイズなど体験型の催しが多く実施された。フレイル予防チームでは、看護師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士が体力、栄養、口腔面のチェックを行い、測定結果を参加者と確認しながら、フレイル予防の重要性や普段の生活の中で意識したいことなどをポスターやリーフレットを用いて説明した。他のチームも同様に多職種が一丸となり、専門性を活かしながら、生活習慣病予防や介護に役立つ情報提供や日常業務の紹介を行った(写真1)。



図1 台東病院・老健千束祭 案内ポスター

表1 各チームの催しの内容

チームのテーマ	主な実施内容
1 健康チェック	・身体測定、血圧・視力・握力測定、呼吸機能検査による肺年齢測定、ボディチェッカーによる血管年齢・ストレスチェック
2 フレイル予防	・フレイルチェック①体力測定(5回立ち座りテスト、片脚立位時間、5m歩行試験)②食品摂取の多様性チェック③オーラルフレイル・咀嚼力テスト ・ポスターやリーフレットによるフレイル予防のポイント解説
3 禁煙推進	・喫煙、受動喫煙による健康影響を周知するポスター、動画放映 ・台東病院の禁煙推進活動の紹介、ニコチン依存症スクリーニングテスト ・たばこに関するクイズ
4 食生活支援	・ローソン台東病院店で展開している院内コンビニにおける食環境整備の紹介 ・「身体づくり」「健康づくり」「口から食べるを支援」のテーマでクイズや試食をしながら食について学ぶ
5 認知症ケア	・認知症の人への接し方をクイズを通じて学ぶスタンプラリー ・認知症に関するビデオ放映、介護士、作業療法士による相談コーナー
6 在宅ケア	・在宅介護に役立つオムツ交換のポイントの解説と実技指導 ・AEDのデモンストレーション
7 施設見学	・薬剤室、外来、救急外来、検査室、リハビリ室の見学(1回約60分) ・分包機を使ったお菓子の一包化体験 ・院内で働く職種の紹介(ポスター掲示)
8 技能実習生紹介	・パネル展示による外国人技能実習制度の紹介 ・ベトナム人技能実習生と交流、ベトナムコーヒーの提供
9 ボランティア紹介	・地域のボランティアによる和太鼓演奏、江戸芸かっぽれの発表 ・アロママッサージ体験



写真1 病院祭各チームの催しの様子



写真2 総合診療医による講演会およびワークショップの様子

1階のメイン会場では、総合診療科の医師による「認知症」と「人生会議」(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)をテーマにした講演会を行った。参加者の多くは高齢者であり、いずれのテーマも自分の身に起こる問題として多くの方が熱心に聞き入っていた(写真2)。

講演の合間には、病院職員の同好会によるバンド演奏、浅草かっぽれ保存会による江戸芸かっぽれや和太鼓の迫力あるステージが披露され、会場は祭りムード一色となった(写真3)。また、都内でも認知の高い台東区のキャラクター「台東くん」や、地元の吉原地区で伝承されている「狐舞」も飛び入りで披露され、地域密着型の台東病院らしい祭りとなった。

## 参加者アンケートの結果

病院祭の一般来場者にアンケートを実施した。アンケートの回収率は61%で、118名が回答した。参加者の年代は70歳以上が48.3%と約半数を占めていた。来場者の多くは、受診や検診、お見舞いなどで「来院したことがある」と回答したが、「初めて来院した」とする回答も14.4%あり、病院祭が病院を知ってもらう契機となったことが伺えた。

病院祭に参加して感じたことでは、「楽しかった」が61.9%と多く、次いで「地域にとって、大切な病院だと思った」36.4%、「親しみがもてた」





写真3 地域のボランティアによるステージ等の様子

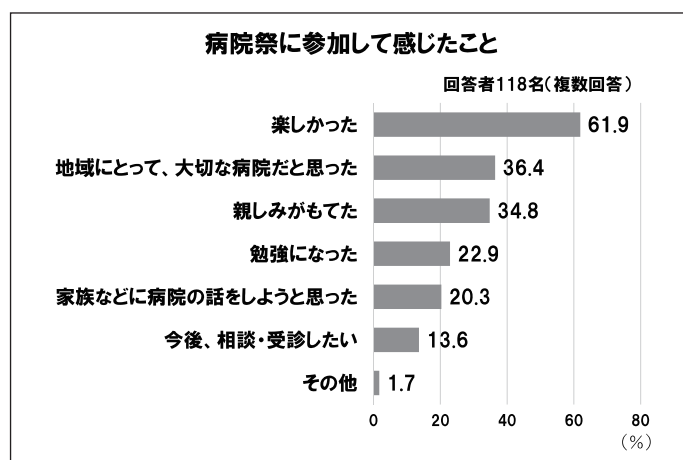


図2 病院祭来場者アンケートの結果

34.8%の順であった(図2)。今後も病院のイベントに参加したいと回答した割合は91.5%であった。

自由記述では、「初めて受ける健康チェックは自分を知るためにも良かった」「地域の病院としてありがたい」「地域の中にある病院であることを再認識した」「病院なのに明るく笑顔いっぱいスタッフがいて、こんな病院が台東区にあっていいと感じた」などのコメントが寄せられていた。

## 今後の展開

病院祭の目的の一つは、台東病院が、地域に根付き、地域住民の健康づくり(予防)にも取り組む病院であることを周知することにあった。さらなる分析が必要だが、参加者の感想からは、一定の成果につながったと考えられる。

職員に対しては、ヘルスプロモーションの理解や活動意欲の向上、職種間のコミュニケーションの強化もねらい、就業3年目職員の研修

としても位置付けた。職員からは、「患者さんや来場者の方と接して、健康に関心がある人が多いことが分かり、相談に応じる時間があると良かった」「地域に人たちとのかかわりは重要でヘルスプロモーション活動はその手がかりの1つになると感じた」などの発言も聞かれた。病院祭が、地域に関心を持つ人材育成に寄与する可能性があると考えられた。

今後は、今回の病院祭での経験を踏まえて2019年10月にHPHワークショップを開催し、病院の特性や強みを生かした活動内容の検討と展開につなげるほか、職員対象のアンケート調査を行い、病院祭の成果や今後の在り方について、総括したいと考える。

今回の病院祭を契機に、今後も、地域のヘルスプロモーションの拠点として、職員が日常業務にヘルスプロモーション活動を取り入れ、施

設を利用する患者・利用者やその家族、さらに地域住民の健康を守る取り組みを台東区と一体となって積極的に推進していきたい。

#### 参考文献

- 1) 嶋田雅子, 他:医療の場におけるヘルスプロモーション-HPHの概要について-. 月刊地域医学 2016;30(5):386-389.
- 2) 保科ゆい子, 他:台東区立台東病院・老人保健施設千東における禁煙推進プロジェクトの活動と今後の展望. 月刊地域医学 2016;30:864-868.
- 3) 中村正和, 他:病院職員を対象とした禁煙補助薬の新しいエビデンスに基づいた治療の試み-健康保険組合とコラボした充実した禁煙治療メニューの提供とその効果の検討-. 月刊地域医学 2018;32:687-695.
- 4) 川畑輝子, 他:医療・介護施設における職員の食生活改善のための食環境整備に向けて. 月刊地域医学 2018;32:1090-1096.
- 5) 楠本直紀:地域のヘルスプロモーション病院を目指して. 月刊地域医学 2019;33:34-38.
- 6) 嶋田雅子, 他:地域ヘルスプロモーション病院を目指して-「地域連携の会」報告-月刊地域医学 2019;33:382-385.